

平成28年度「施政方針」施策の実績内容

平成28年度施政方針に掲げられた施策・事業の取り組み実績は次のとおりです。

年度末実績自己評価 : ○順調に実施された △一部実施できなかった ×未着手

H28施策(事業)名	H28施策等概要	実績内容	実施効果	自己評価	担当課
◆健康福祉施策					
①子育て支援	<p>町立保育園では、スタートから2年目となる「子ども・子育て新制度」に合わせた運営を行うとともに、引き続き町立保育園以外の保育園にも保育を委託し、待機児童の解消を図ります。</p> <p>町立保育園での英語指導や園児たちが伝統文化等に接する機会を増やすなど保育の質の向上に努めます。</p> <p>昨年度2か所設置した地域子育て支援拠点において、週3日、保育士等による子育て中の親子の交流促進や育児相談を行います。新たにネウボラ事業として、子育ての相互援助活動の連絡調整を行うファミリーサポートセンター事業及び身近な場所での教育・保育に関する相談を行う利用者支援事業を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園入園状況 岩橋保育園146人、中央保育園52人、昭苑保育園62人、管外委託3名、管外受託8名 ・町立保育園 各園英語指導週1回15分、書道教室週1回、茶道教室年3回 ・地域子育て支援拠点利用者数(あいあいルーム)4,423人 ※利用者の増加から、保育士を週3日から週5日配置しました。(しょうえんこどもこそだてルーム) 1,091人 ・利用者支援事業(5月より実施)子育てに関する情報収集及び情報提供の他、教育・保育に関する相談に応じています。相談件数 283人 ・ちばMyStyleDiaryの配信 ・ファミリー・サポート・センター事業 協力会員 2人 両方会員1人 利用会員9人 	<ul style="list-style-type: none"> ・私立保育園と連携し、「子ども・子育て支援新制度」に基づき保育運営を実施し、待機児童0人となりました。 ・町立保育園では英語指導、書道教室、茶道教室を実施し、保育の質の向上が図られました。 ・地域子育て支援拠点事業、利用者支援事業を行い、乳幼児時期の子を持つ保護者の育児不安の解消等が図られました。 	○	子ども課
②子ども医療費助成	<p>中学校卒業まで、保険適用診療における医療費の自己負担分を1回につき200円となるよう助成して、保護者の経済的負担の軽減を図ります。</p> <p>ひとり親福祉推進事業として、医療費等の自己負担分の一部を助成します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校3年生までを対象に、入院・通院・調剤医療費の助成を行いました。 子ども医療費助成額(扶助費) 62,043千円 (補助対象児2,414人/子ども総数2,709人) ・ひとり親家庭等の医療費の自己負担分の一部を助成しました。 医療費助成額(扶助費)3,120千円 (助成者数実績119人/助成対象総数243人) 	<p>中学生までの医療費を助成することで、子育て世帯に対する保健の向上及び経済的負担の軽減が図られました。</p>	○	こども課・健康福祉課

H28施策 (事業)名	H28施策等概要	実績内容	実施効果	自己評価	担当課
③放課後子ども事業	放課後子ども教室は、地域の方々の協力を得ながら児童の健全育成を図ります。放課後児童クラブは、学童保育需要の高まりからクラブ室の不足が見込まれる公設委託の各小学校では、余裕教室の調整を図りながら保育の場所を確保し、民設補助の1か所と併せて計3クラブで円滑な運営が図れるよう努めます。	<p>【放課後子ども教室(週1回)】 NPO法人B-Net子どもセンターと協定を結び、同法人の企画運営により、町内小学校2校を活動場所としてスポーツや創作活動等を行いました。 登録児童数 酒々井小292人 大室台小381人 合計 673人 年間開催日 酒々井小(火曜日)30回 大室台小(月曜日)32回 年間児童参加延数 酒々井小1,473人 大室台小1,844人</p> <p>【放課後児童クラブ】 子ども・子育て支援新制度により小学6年生までの受け入れを実施しました。酒々井小及び大室台小児童クラブの運営は、保護者や地域住民からなる運営委員会に委託しました。 在籍児童数;酒々井小児童クラブ59人、大室台小児童クラブ44人、学校法人堀口学園酒々井児童クラブ55人 開所日時;日曜、祝日、年末年始等を除く月曜日から土曜日までの放課後から夜7時15分まで(土曜日及び長期休業中は朝7時から夜7時15分まで)</p>	<p>・放課後子ども教室の実施により、子どもたちが地域の方や学生と一緒に、遊び・スポーツや創作活動に取り組むことができました。</p> <p>・放課後児童クラブの実施により、放課後に児童の安全で安心な居場所を提供し、児童の健全な育成に資することができました。</p>	○	子ども課
④高齢者・介護支援・予防	災害時要援護者名簿登録制度を推進し、特に、75歳以上の一人暮らし高齢者や高齢者夫婦世帯を対象に、平常時の「見守り」や「声かけ」、非常時の避難支援などを行います。60歳以上の方の要介護状態への移行を予防するための生きがいサービス事業や、75歳以上を対象にした老人福祉大会、介護予防や生きがいづくりを目的に80歳を迎えた方の青年式を開催します。高齢者の総合的な支援を行う地域包括支援センターの円滑な運営支援と、ボランティア活動を行う高齢者にポイントを付与する介護支援ボランティア制度を実施します。	<p>・民生委員児童委員を中心とした日常の高齢者宅の訪問、見守り活動を通じて、非常時に備えるための支援活動を行いました。 災害時要援護者名簿登録制度の登録世帯数209件</p> <p>・生きがいサービス事業を実施して介護予防の支援を行いました。 週3コース(隣保館:水曜会24人 金曜会27人、社会福祉協議会:火曜会25人)</p> <p>・老人福祉大会を開催 9月19日(敬老の日) 75才以上の参加者499人 80才(米寿)表彰者36名 (参加者総数535名)</p> <p>・80才の青年式 11月9日(水)開催 プリミエール酒々井 86名参加</p> <p>・介護支援ボランティア活動を行う高齢者にポイントを付与する介護支援ボランティア制度を実施し、介護予防を推進しました。 ボランティア制度説明会及び研修会 平成29年3月21日(火) 参加者16名(うち登録者9名)</p>	老人福祉大会は、事前に懇談会を開催して関係団体からの意見を参考に大会内容の見直し協議を行った結果、2部制を導入することとなり、入場者の混雑の緩和が図られました。	○	健康福祉課

H28施策 (事業)名	H28施策等概要	実績内容	実施効果	自己評価	担当課
⑤生きがい 創造支援	シルバー人材センターの機能充実に向けた支援を行います。農地の荒廃により住民や通学の子どもたちに支障を及ぼすような地域の環境を、活力ある高齢者すなわち創年の方々と町が協働して改善する荒廃地環境保全協働事業を試行的に行います。	<p>・酒々井町シルバー人材センター事業 活動費を助成し、会員への技術の習得講習会等を実施しました。 (剪定講習会、刈払機安全技術講習会、特産品(そば)栽培技術習得、そばを使った加工品づくりの研究と技術習得)</p> <p>・荒廃地環境保全協働事業 農地の荒廃により、周辺で暮らす住民や通学路等として利用する子供たちに支障をきたす地域の環境を高齢者の力と町で協働で改善する事業を行いました。</p>	<p>高齢者の生きがい支援・健康増進に資するシルバー人材センターの機能充実が図られました。 試行的に実施した荒廃地環境保全協働事業では、地域の環境が改善するなど、一定の成果が見られました。</p>	○	住民協働課
⑥健康づくり	特定年齢の方に対する乳がん、子宮頸がん、大腸がん、肝炎ウィルスの検診を無料で行います。 40歳以上の方の歯科検診を無料で行います。	<p>健康手帳の交付 494冊 健康相談 来所者延べ534人、電話延べ39件、歯科健康相談 延べ7件 乳がん検診 エコー147人 マンモグラフィ1方向 1,323人、2方向 69人(内クーポン235人) 子宮頸がん検診 789人(内クーポン129人) 大腸がん検診 2,285人(内クーポン236人) 胃がん検診 1,246人 肝炎ウィルス検診 84人 結核・肺がん検診 1,858人 成人歯科検診 119人 骨粗しょう症予防検診 214人 予防セミナー(検査含む) 25人 ・しすいハート体操を制作し、教室や出前講座で普及に努めました。 しすいハート体操教室 2コース(1コース5回)実施 参加者数延べ164名 出前健康講座 7回実施 参加者数170名 老人福祉大会時 参加者数535名/80歳の成人式時 参加者数74名</p>	<p>検診や相談を実施したことにより、生活習慣病の予防が図られました。 新たに制作した「しすいハート体操」について、体験した参加者の感想は「誰でも手軽にできる体操で地域の集まりでもやってみよう」と好評でした。</p>	○	健康福祉課
⑦母子保健	マタニティ・ママパパクラス、妊婦健診、乳児健診、幼児健診、遊びの教室などの事業メニューにより子育て支援に取り組みます。 なかよしはみがき教室を開催し、保育園・幼稚園児に歯科保健指導を行います。 ことばの教室を開催し、就学前に個別指導を行い、発達を促します。 4か月乳児相談時に健やかな発育を促すために絵本を配付します。 不育症で治療を受けている夫婦に治療費の一部を助成します。	<p>母子健康手帳交付 123件 新生児訪問指導 128件 養育支援訪問 15件 マタニティ・ママパパクラス(1コース実施) 実人数(妊婦24人 家族17人) 延べ60人 乳児相談 4か月児 対象者129人/参加者120人(93.0%) 10か月児 対象者131人/参加者121人(92.4%) 1歳6ヶ月児健康診査 対象者132人/受診者118人(89.4%)6回実施 2歳児歯科健康診査 対象者119人/受診者109人(91.6%)4回実施 3歳児健康診査 対象者146人/受診者133人(91.1%)6回実施 ゆりかごルーム 31回実施 延べ156組 幼児健診事後指導 12回実施 延べ201組 親子相談 12回実施 延べ25組 ことばの教室 30回実施 延べ115人 ブックスタート 136組 なかよしはみがき教室 4回実施 対象者 年長組78人(酒々井幼稚園:31人、岩橋保育園:28人、中央保育園:10人、昭苑保育園:9人)</p>	<p>妊娠初期から幼児期までに保健事業を通して切れ目のない支援を実施しました。2歳児歯科健康診査では、健診の周知を徹底し、未受診者には電話で勧奨を実施したところ、受診率が昨年度より20%以上向上しました。</p>	○	健康福祉課

H28施策 (事業)名	H28施策等概要	実績内容	実施効果	自己評価	担当課
⑧予防接種	乳幼児、学童、生徒及び65歳以上の方等に対して予防接種を行い、感染症の流行防止に努めます。	ヒブ 463人／小児用肺炎球菌 458人／四種混合 478人／ 単抗原ポリオ 63人／BCG 105人／水痘 211人／ B型肝炎 150人(H28年10月～)／ 麻しん風しん混合1期 103人、2期 122人／ 日本脳炎 643人／ジフテリア破傷風混合 139人／ 高齢者肺炎球菌 525人(以上平成28年4月～29年2月実施分)／ 高齢者インフルエンザ 3,192人(平成28年度実績)	予防接種で予防できる疾病の発生、まん延を予防し、健康維持を図っています。特に、10月から定期接種化されたB型肝炎予防接種については、個別に周知を行い、早期の接種ができています。	○	健康福祉課

◆教育文化施策					
①特色ある 幼児教育	豊かで特色ある幼児教育推進のため、私立幼稚園に補助金を、また、保護者には私立幼稚園就園奨励費補助金をそれぞれ交付します。	<ul style="list-style-type: none"> ・私立幼稚園運営費及び教材費補助金 酒々井町内2園に対し、運営費各園200千円、教材費198千円(町内在住園児数198人分)を補助しました。 ・私立幼稚園就園奨励費補助金 酒々井町、千葉市、佐倉市、成田市、芝山町の幼稚園9園に対し、園児229人分、補助金額29,381千円を交付しました。 	幼稚園教育における特色ある活動及び発表会等の事業に対する必要経費や、園児の日常使用する教育教材費として町内在住園児1人千円を補助することにより、幼児教育の推進及び保護者の経済的負担の軽減が図られました。	○	こども課

H28施策 (事業)名	H28施策等概要	実績内容	実施効果	自己評価	担当課
②学校教育の充実	平成27年度に引き続き、中学校グラウンド整備の為に用地買収を進め、スポーツ環境の改善を図ります。特色ある教育活動を積極的に推進するため、「小・中学校スクールサポート事業」、「教職員の特色ある教育活動支援事業」などに取り組みます。	酒々井中学校グラウンド拡張整備の進捗状況は、本年度予算計上分(2筆・2,728.1㎡)について、用地測量、不動産鑑定及び用地購入まで予定どおり終了しました。進捗率=100% 「小・中スクールサポート事業」では、その学校で中心的な役割を担うことを考慮した人物を配置し、それぞれの学校の実情に応じた取組を行い、子どもたちが元気に活動できる環境作りのサポートを行いました。	現在、中学校グラウンドは複数の運動部が共有し、交錯することもあるため、拡張によりこの解消が図られます。この拡張により、各部活動の競技エリアの専門性が高まり、部活動に取り組む際の意欲がより一層向上するものと期待できます。また、中学校だけの利用にとどまらず、学校開放や町行事への使用を検討することにより、広く社会性を持った学校施設となることも期待できます。「スクールサポート事業」は、子どもたちに必要な支援の提供に繋がっています。	○	子ども課・学校教育課
	小学5、6年生の授業を中心に理科専属の支援職員を2校に配置します。	1名の理科専属支援職員が、小学校2校で実験等の授業の事前準備を行いました。	児童の関心・意欲を高めることができました。	○	
	ALT(外国語指導助手)を活用した保育園から中学校までの一貫した英語教育の実践と、中学生を海外へ派遣してホームステイや現地校での体験学習を通して異文化理解を深める国際交流派遣事業により、国際化に対応できる人材を育成します。酒々井中学校の3年生全生徒を対象に、英語検定の検定料を助成する「パワーアップE」事業を始めます。	保育園の園児、小学生、中学生と、すべての成長段階でALTによる生の英語とふれあう機会を作りました。国際交流派遣事業では、オーストラリアに中学生を派遣しました。今年度は38名の応募があり、20名が参加しました。ホームステイを中心に行い、外国の文化を吸収したり、身近に外国人と接する機会となりました。「パワーアップE」事業には、酒々井中学校3年生の全生徒189名から申込みがあり、検定料の助成を行いました。	ALTによる指導により、英語好きな子どもたちが多くなっており、グローバル化に向かい良い影響を与えています。毎年、オーストラリアで良い経験を積むことができているので、生徒の英語に対する苦手意識も少なくなっていることを感じています。	○	学校教育課
適応指導教室「ふれあいルーム」を設置し、不登校児童・生徒等を対象にカウンセリングや学習指導、小集団活動等を組織的・計画的に行い、集団対応と学校復帰を支援します。	学校に行くことができない生徒達のために、役場内に「ふれあいルーム」を毎日開設し、カウンセリングや学習指導を行い、集団適応と学校復帰の支援を行いました。	適応指導教室に昨年度まで通級していた生徒で、今年度より学校復帰を果たした生徒が3名います。また、適応指導教室は不登校児童生徒の減少のために大きな役割を果たしています。	○		

H28施策 (事業)名	H28施策等概要	実績内容	実施効果	自己評価	担当課
③食育の推進	<p>栄養士による食育指導を行い、学校給食を通して子どもたちに食の理解、健康の増進、社会性や食事のマナーなどの教育効果を図ります。</p>	<p>【栄養教諭による給食指導】 年間を通して、各学年に応じたテーマによりクラス単位で指導しています。食材や食を提供してくれる人に対し感謝の気持ちを持つことや、健康で健全な学校生活をおくるうえで必要な栄養素、飽食な現代の食生活を改善する意識付け等の指導を行いました。</p> <p>【酒々井町産農産物の積極的な使用】 酒々井町直売組合と積極的な連携を図り、旬の野菜や味噌等の加工品を給食に使用しました。週4回提供される主食のご飯は100%酒々井産のお米を使用しました。28年度は酒々井ハーブガーデンで栽培されたハーブを献立に取り入れるなど酒々井産の農産物をより多く取り入れました。</p>	<p>栄養教諭がクラスに入って指導し給食を子ども達と一緒に食べることで、食への関心を高めるだけでなく栄養バランスや食事の環境を考え取り組めるようになりました。</p> <p>また、酒々井町で生産された新鮮な野菜や果物を取り入れることにより野菜離れの防止や季節を感じる献立に努めました。</p>	○	給食センター
④文化財保存	<p>本佐倉城跡への導入口として東山馬場を整備するため、模擬矢盾の製作・設置を行うほか、城跡南側の回転場・駐車場予定地の発掘調査を実施します。周知・普及事業として、これまでの調査概要の展示や本佐倉城見学会を実施します。</p> <p>江戸時代に栄えた旧酒々井宿の町並を「酒々井町の顔」として保存整備するため、交流支援拠点整備マスタープランの作成や印旛沼眺望名勝地である「下がり松」用地の公有地化を実施します。</p> <p>約3万年前の酒々井町最古の人類生活痕跡であり日本最大級の環状ブロック群を有する「墨古沢南Ⅰ遺跡」の国史跡指定を目指し保存整備事業を継続して実施します。</p>	<p>・本佐倉城跡整備事業では、導入口整備の一環として、地方創生交付金を活用し東山馬場に模擬矢盾の製作・設置を完了しました。城跡南側の回転場・駐車場予定地の発掘調査は8月末に完了し、当時の土塁や井戸跡などが確認されるなどの成果を得ています。普及事業では3月11日に佐倉市と共催で見学会を実施したほか、中央公民館ロビーの常設展を更新し、新たなパンフレットの作成を行いました。(進捗率100%)</p> <p>・まちの顔づくり推進事業では、「下がり松」用地公有地化を実施しました。また、交流支援拠点整備マスタープランの作成についても今年度予定分はすべて完了しました。マスタープランの作成は平成29年度も継続して実施していきます。(進捗率100%)</p> <p>・墨古沢南Ⅰ遺跡保存整備事業では、予定どおり10月から2ヶ月間で県の発掘調査を完了し、遺跡南側の分布範囲が判明するなどの成果を得ています。また保存・調査を検討する有識者による調査整備委員会を立ち上げ、2回の会議のほか現地調査指導等を実施しました。(進捗率100%)</p>	<p>「酒々井町歴史文化基本構想」に基づき、国史跡本佐倉城跡や旧酒々井宿を中心とした町の文化財を総合的に保存・活用することにより、より効果的で幅の広い利活用事業を行うことができ、文化財保護の普及が図られました。</p> <p>墨古沢南Ⅰ遺跡保存整備事業では、引き続き発掘調査等により、今後の国史跡指定に向けての基本資料の集積を図っていきます。</p>	○	生涯学習課
⑤生涯学習	<p>酒々井町ライトスポーツクラブなどを通じて、町民の文化・スポーツ活動の活性化を図ります。人生の節目を祝福する「新成人のつどい」や60歳を迎える方々の「盛年式」を開催します。</p> <p>「酒々井町青樹堂」では、地域づくりに活躍するまちづくり実践者の育成を行います。</p>	<p>・酒々井町ライトスポーツクラブを含む各種スポーツ大会・教室をスポーツ推進委員・体育協会・順天堂大学など各種団体の協力を得て、実施しました。参加者4,718人(前年比502人、11.9%の増加)</p> <p>・成人式(新成人のつどい) 1月8日 新成人参加者126名</p> <p>・盛年式 11月13日 参加者124名</p> <p>・しすい青樹堂(全23回) 受講生 3期生10名、4期生10名</p>	<p>・スポーツへの関心を高めるとともに、健康づくり、仲間づくりが図られました。</p> <p>・成人式(新成人のつどい)では、新成人が未来への夢と希望を持ち、また酒々井町への郷土愛を深めることができる式典となりました。</p> <p>・盛年式では、町内の活動団体の紹介、交流会等を通して、今後、地域で活動する契機の間を提供することができました。</p>	○	生涯学習課

H28施策 (事業)名	H28施策等概要	実績内容	実施効果	自己評価	担当課
⑥学校教育 支援	<p>これまで培った知識や経験を子どもたちに伝承する地域のボランティアの活動拠点として、小中学校内に「地域ルーム」を設置します。</p> <p>中学生を対象として学習習慣の確立と基礎学力の定着を図るための補習授業を行う「未来塾」を新設します。</p>	<p>町内3小中学校において、児童・生徒に、より良い教育環境を与えることを目的として、コーディネーターが、要望を持つ学校と地域住民や保護者等のボランティアとの間をつなぎ、環境整備・授業補助などの活動を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・酒々井小: 活動日数64日 栽培補助・総合学習補助・ミシン補助・環境整備 ・大室台小: 活動日数78日 ビオトープ整備・プール授業監視・ふるさと農園整備・ミシン補助 ・酒々井中: 活動日数63日 地域未来塾・学校行事補助・ホームページ作成 	<p>児童1人1人にきめ細かい授業を行うことができ、地域住民の方との交流も図ることができました。学校行事や授業の補助を保護者や地域住民の方が行うことにより、学校運営において教員の負担が軽減し、児童・生徒の学習指導により専念できるようになりました。中学校では新事業「地域未来塾」を開始し、生徒の学習習慣の定着と基礎学力の向上を図ることができました。</p>	○	生涯学習課
⑦青少年健 全育成	<p>星空等の美しい自然体験学習ができる北海道陸別町との児童交流事業を行います。また、小学校児童を対象とした補習と講座を開催し、地域と連携した土曜日の教育支援を行います。</p>	<p>①北海道陸別町児童交流事業の実施 8月23日～25日(2泊3日)児童20名(引率5名)の参加により実施しました。</p> <p>②土曜日の教育支援体制等構築事業の実施(こども青樹堂) 子どもたちの豊かな人間形成を育み、確かな学力の定着に向けた学習プログラムを提供することを目的とし、休業日である土曜日に子どもたちが進んで学習や活動に取り組む場として実施しています。</p> <p>3・4年生クラス登録人数30人 全17回予定中17回実施 5・6年生クラス登録人数26人 全17回予定中17回実施</p>	<p>①北海道陸別町児童交流事業: 事前学習や陸別町の児童との交流、北海道での自然体験により酒々井町の良さも学び、自立心の向上や心の豊かさを育むことができました。</p> <p>②こども青樹堂: 子どもたちの学力が向上することで、自信を持ち、さらに追究していこうとする姿勢が身につきました。参加者からは「他校の人と交流が持てて楽しかった」「学校でもテストの成績が良くなった」「今起きている社会の問題もわかりやすく教えていただいた」「ことわざや漢字などたくさん書いて読めるようになった」等の感想が寄せられました。</p>	○	生涯学習課
⑧中央公民館耐震化	<p>中央公民館は、11月を目途に耐震補強工事に取り掛かり、これに伴って貸館業務を中止します。</p>	<p>耐震補強工事については、現在講堂棟と研修棟を二つに分けて工事(工期～7月末日まで)を実施しており、順調に進んでいます。引き続き、事故等の無いよう注意し利用者の負担が最小限に軽減されるよう努めていきます。</p>	<p>公民館の耐震性能が強化されることで、地震等の災害から利用者の生命を守ると共に、被災後の応急対策、復旧・復興、避難者の受け入れ等の重要な地震防災機能を果たす防災拠点として更に充実した役割を果たすことができるようになります。</p>	△	中央公民館

H28施策 (事業)名	H28施策等概要	実績内容	実施効果	自己評価	担当課
◆生活環境施策					
①消防・防災	防災訓練を実施するほか、自主防災組織への防災資機材の購入を支援します。防災行政無線の機器更新及びデジタル化を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練については、災害時において迅速に避難所を開設するため、職員を対象に職員参集訓練及び避難所開設訓練を9月3日に予定していましたが、台風の影響により実施することができませんでした。 ・自主防災組織への防災資機材購入支援については、ふじき野3丁目自治会の防災資機材購入にあたり、492千円を交付しました。 ・防災行政無線のデジタル化については、危機管理室の移動に伴い、中央庁舎2階防災無線室から分庁舎1階防災無線室へ親局を更新設置、また、佐倉市八街市酒々井町消防組合本部に設置している遠隔操作機を更新しました。町内に設置している子局は、3局(「No.2酒々井消防署」「No.19大鷲青年館」「No.20上岩橋」を更新しました。更に、町防災行政無線と連動する県防災行政無線、震度情報システム及びJアラート等も中央庁舎2階から分庁舎1階に移設を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織への補助金交付では、自治会住民における防災意識の高揚及び地域における自主防災活動の促進が図れました。 ・防災行政無線については、多くの住民へ情報を一斉に伝達できる有効な手段であり、これまでのアナログ方式の運用では、情報伝達手段が限られていたため、今回のデジタル方式に更新したことにより、多様な情報伝達手段が確保されます。 	△	総務課
②交通安全・防犯	自治会、防犯ボランティア活動団体との協働による防犯対策を推進します。通学路などの交通安全対策を総合的な視点から検討するため設置した総合交通政策会議での検討から、施設の整備等を行います。地域防犯力の向上を図るため、駅前交流センターに隣接した場所へ「防犯ボックス」を設置します。	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯事業は、町内の防犯ボランティア団体と犯罪防止及び防犯活動の推進、犯罪情報等の提供を目的に、毎月防犯連絡会を行いました。 また、千葉県安全で安心なまちづくり旬間期間に佐倉警察署、防犯団体と協力し町内で集客力のあるJR、京成駅前及びスーパー店舗前において、犯罪被害の未然防止や防犯意識の高揚を図ることを目的に防犯キャンペーンを実施しました。 ・防犯ボックス事業については、JR酒々井駅東口に設置されている駅前交流センターに13.25㎡の防犯ボックスを建築(増築)し、3月上旬に完成しました。 ・交通安全対策については、佐倉交通安全協会酒々井支部、佐倉警察署と協力し、季節ごとの交通安全運動期間に国道交差点での街頭監視、街頭啓発キャンペーンを実施し、交通安全の意識の高揚を図りました。また、正しい交通ルールやマナーを身につけるため、町立小学校2校において交通安全教室を開催しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 防犯事業及び交通安全対策により犯罪抑止や交通事故の減少につながりました。 なお完成した防犯ボックスについては、今後、勤務員(県警OB)3名を嘱託職員として雇用し、防犯ボランティア団体等との合同パトロールや子どもや女性の見守り活動を行い、地域の防犯力の向上を図っていきます。 	○	総務課
③環境部門	環境に配慮した住宅用太陽光発電システム、家庭用燃料電池システム(エネファーム)及び定置用リチウムイオン蓄電池システムの設置費用の補助事業をそれぞれ継続します。住民が簡単に環境負荷を計算できる「環境家計簿」の普及を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅用太陽光発電システム 予算5,600千円(40基) 実績(交付決定)助成額3,606千円(26基) ・家庭用燃料電池システム(エネファーム) 予算1,000千円(5基) 実績補助金額400千円(2基) ・定置用リチウムイオン蓄電池 予算1,000千円(5基) 実績補助金額0円(0基) 広報4月号及び12月号、町ホームページに掲載し周知しました。環境家計簿については、町ホームページに掲載し周知しました。	住宅用太陽光発電システム設置補助により、地球温暖化の防止、地域における再生可能エネルギーの導入促進、家庭におけるエネルギーの安定確保を図ることができました。また、町ホームページにより環境家計簿の周知をしたことにより、地球温暖化防止に対する啓発効果があったものと思われます。	○	経済環境課

H28施策 (事業)名	H28施策等概要	実績内容	実施効果	自己評価	担当課
◆都市基盤施策					
①まちづくり 施策	町景観基本条例に基づき、町の良好な景観の形成を図るための基本的な方針や行為の制限に関する事項等を定める「景観計画」を策定します。 木造戸建て住宅の耐震診断及び耐震改修工事にかかる費用の一部を助成します。雨水の貯留、浸透対策を踏まえた住宅リフォーム補助事業を行います。 空き家の発生防止と解消のための空き家リフォーム工事やUターン者等の新築住宅等取得に対し、必要に応じ奨励金を交付する事業を開始します。	【景観計画】酒々井町の自然や歴史、文化などの景観特性を整理し、良好な景観形成のための方針や基準について検討し、酒々井町独自の景観計画を策定しました。 【住宅耐震】木造戸建て住宅の耐震診断:3件の交付申請があり全件に補助金を交付しました。 同じく耐震改修工事:1件の交付申請があり全件に補助金を交付しました。 【住宅リフォーム】11件の交付申請があり全件に補助金を交付しました。 【耐震シェルター等】木造住宅の耐震シェルター・防災ベッドへの補助金を新設:1件の交付申請があり補助金を交付しました。 住宅取得奨励金を支給し、当町への住宅取得を促すための事業を予定していましたが、財源としていた国の「地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金」が個人対象のものについては不採用となったことから、実施は取りやめました。	・景観計画を策定することで、都市マスタープランでの景観形成に関する基本方針をより具体化し、酒々井らしい景観づくりが進められます。 ・耐震診断費補助、耐震改修工事費補助により、地震時における木造住宅の安全性を高め、災害に強いまちづくりを推進しました。 ・住宅リフォーム補助については、町民の生活環境の向上と町内産業の活性化を図る効果がありました。	△	まちづくり課
②道路の整備	通学路等の安全確保を優先とした改良工事や狭あい箇所の局部改良、舗装の打ち替え工事及び橋梁の長寿命化に向けた計画的補修工事など、交付金を有効に利用しながら順次実施します。ガードレール、カーブミラーや区画線などの交通安全施設や防犯街灯の整備など、道路の安全性の確保に努めます。	・カーブミラー新規設置要望5か所設置 ・JR酒々井駅東口ロータリー周辺区画線引き直し ・路面標示1か所実施(酒々井中学校要望) ・JR酒々井駅西口ロータリー周辺道路照明柱塗装4基 ・東酒々井地先道路照明柱塗装3基 ・大室台小学校通学路防犯街灯設置2基	・カーブミラー設置により交通の安全性を確保しました。 ・区画線引き直しにより通行の安全を図られました。 ・路面標示実施により通行注意の喚起を行いました。 ・道路照明柱の塗装実施による景観の向上及び腐食による倒壊等の防止が図られました。 ・通学路の防犯、安全の確保につながりました。	○	まちづくり課

H28施策 (事業)名	H28施策等概要	実績内容	実施効果	自己評価	担当課
③公園の整備	中央台公園の排水機能を向上させるため、集水暗渠管埋設及び広場の表層面の改修を行います。また、野外ステージの改良工事も行います。	<p>中央台公園雨水排水整備工事(進捗率100%) ・透水管布設283m ・川砂敷均し1,800㎡ ・石灰岩ダスト舗装600㎡</p> <p>中央台公園野外ステージ改良工事(進捗率100%) ・遮音壁設置L=22.0m・ステージ拡張工 ・土系舗装165㎡ ・屋根シート張補助器具設置</p> <p>中央台公園野外ステージテント製造・納品(進捗率100%) ・既設パーゴラ用脱着テント1基 ・更衣室組立テント2基</p>	<p>・雨水排水機能の改善が図られました。</p> <p>・野外ステージ改良による町のイベント等での利便性が向上しました。</p>	○	まちづくり課

◆産業経済施策					
①農業施策	高崎川の法面崩落による護岸改修工事を実施します。 農業用機械の取得等について支援し、地域農業の振興に資するため「担い手育成支援事業」を始めます。 農業基盤整備事業として過去に実施した債務負担行為の解消及び国営印旛沼二期土地改良事業に係る負担金の一部を基金に積み立てることにより、将来負担の軽減を図ります。	<p>①高崎川の護岸改修について、現況測量、設計業務を完了し、4月上旬から工事に着手しました。</p> <p>②「担い手育成支援事業」については、11件(内認定農業者2名)4,785,000円の補助を実施し、担い手の育成・確保を図りました。(新たに認定農業者になった者2名)</p> <p>③農業基盤整備事業として過去に実施した債務負担行為について、繰上償還21,170,361円を含む36,908,642円を償還しました。また、国営印旛沼二期土地改良事業に係る負担金を平成31年度に一括支払いするため、農業基盤整備基金条例を設置し、平成22年度から31年度までの10年間、予算の範囲内において基金に積み立てる予定であり、今年度は平成29年3月に47,062千円の積み立てを行いました。</p>	<p>①高崎川護岸を改修することにより営農条件が改善され、安定した農業経営が図られました。</p> <p>②経営規模の拡大や経営改善に必要な農業用機械等の取得を支援することにより、担い手の育成・確保並びに地域農業の振興が図られました。</p> <p>③繰上償還により、全体で700万円の負担軽減が図られます。また、国営印旛沼二期土地改良事業の負担額については償還期間が長期で金利等多額になることから、基金積立てにより将来負担の軽減が図られます。</p>	○	経済環境課

H28施策 (事業)名	H28施策等概要	実績内容	実施効果	自己評価	担当課
②企業誘致	「酒々井町企業立地のご案内」を活用し、酒々井南部地区新産業団地と墨工業団地への積極的な企業誘致訪問を行います。	優良企業の誘致・立地を促進するため、優良な交通アクセスや企業立地奨励制度を掲載した企業立地ガイド「酒々井町企業立地のご案内」(平成27年度2千部作成)を、千葉県商工労働部企業立地課への職員派遣および企業訪問連携を通じて、県内外の立地需要のある企業へ配付しました。また、地域の金融機関や不動産デベロッパーなど、土地を利用する立地企業に対して発信力を持つ事業者に対し、周知および活用を依頼しました。	酒々井南部地区新産業団地内の民有地約10ヘクタールについては、土地造成終了以降今期末までに約8ヘクタールの土地が企業による活用の見込みとなりました。	○	経済環境課
③観光施策	JR酒々井駅のケースディスプレイに町の特産品を展示します。プレミアム・アウトレット内の「酒々井コミュニケーションセンター」で町の観光物産等の情報を広く提供します。ちびっこ天国は、検討委員会からの提言を受け総合的に判断した結果、期間を3年とする第5期目の指定管理制度を導入して管理運営を行います。また、老朽化した箇所改修や多用途の活用について検討します。コミュニティプラザとハーブガーデンは、検討委員会からの提言を踏まえ、施設改修の基本設計を行います。	JR酒々井駅自由通路の展示コーナーに町の特産品を展示し、乗降する観光客に対しPRを行いました。酒々井プレミアム・アウトレット内に開設している酒々井コミュニケーションセンターでは、観光・物産に関するパンフレット等の設置により情報発信を行い、主として町外からのアウトレット来場者を対象に、町内各種観光施設への誘客を図りました。ちびっこ天国については、本年度で第5期指定管理の終了を迎えるにあたり、次期指定管理の公募を行ったところ応募がなかったため、募集要件を緩和し指名による再募集を行いました。また、開園後43年が経過し施設の老朽化が進んでおり、運営には大規模な改修が必要になることなどを踏まえ、平成29年度以降当面の間、休園することとなりました。コミュニティプラザ及びハーブガーデンについては、全体改修の基本設計方針および施設の運営方法の検討を行い、3月に公募型プロポーザル方式による基本設計業務受託者の募集を開始しました。	町の観光・物産に関する情報発信を行い、一部施設においては前年と比較して来客者が増加しました。ちびっこ天国については、当面の間休園となりますが、施設の活用について、引き続き検討を行います。コミュニティプラザ及びハーブガーデンについては、改修基本設計業務受託者の募集開始により、次年度以降の実施設設計策定への道筋が整いました。	○	経済環境課

H28施策 (事業)名	H28施策等概要	実績内容	実施効果	自己評価	担当課
----------------	----------	------	------	------	-----

◆地域社会と行財政施策

<p>①住民参加・協働</p>	<p>公益活動の拠点として「井戸端」及びミーティングルームの支援・充実を図ります。 住民が行う自由で自発的な公益活動である住民活動を支援し、住民参加による地域社会の発展及び協働のまちづくりの推進に資することを目的とした事業について補助金を交付します。 地域住民主体の都市公園等の環境美化活動等への支援や生活環境整備工事に必要な資材等の支給を行います。 地域課題解決や新たな町の政策形成等に寄与する創造的なまちづくりの研究事業を行う酒々井まちづくり研究所の管理運営と、「輝く創年とコミュニティ・フォーラム」を開催します。 町と住民等の行政情報と地域情報を共有できるGIS地図情報システムを活用して、100年安全・安心に住めるしすいづくり事業を展開します。</p>	<p>「井戸端」利用実績(延べ)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>小計(上半期)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>団体</td> <td>22件</td> <td>18件</td> <td>19件</td> <td>14件</td> <td>10件</td> <td>14件</td> <td>97件</td> </tr> <tr> <td></td> <td>236人</td> <td>217人</td> <td>206人</td> <td>183人</td> <td>84人</td> <td>165人</td> <td>1,091人</td> </tr> <tr> <td>個人</td> <td>167人</td> <td>169人</td> <td>168人</td> <td>146人</td> <td>107人</td> <td>114人</td> <td>871人</td> </tr> <tr> <td>うち60歳以上</td> <td>154人</td> <td>164人</td> <td>157人</td> <td>127人</td> <td>94人</td> <td>106人</td> <td>802人</td> </tr> <tr> <th></th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>合計(実績)</th> </tr> <tr> <td>団体</td> <td>17件</td> <td>18件</td> <td>16件</td> <td>12件</td> <td>19件</td> <td>21件</td> <td>200件</td> </tr> <tr> <td></td> <td>179人</td> <td>201人</td> <td>193人</td> <td>112人</td> <td>164人</td> <td>192人</td> <td>2,132人</td> </tr> <tr> <td>個人</td> <td>125人</td> <td>113人</td> <td>108人</td> <td>108人</td> <td>106人</td> <td>176人</td> <td>1,607人</td> </tr> <tr> <td>うち60歳以上</td> <td>123人</td> <td>105人</td> <td>103人</td> <td>106人</td> <td>102人</td> <td>171人</td> <td>1,512人</td> </tr> </tbody> </table> <p>協働のまちづくり研修会 平成28年10月23日実施 第4回「輝く創年とコミュニティ・フォーラム」(参加者)一般・職員270名 平成28年6月9日実施(参加者)一般・職員 53名 平成28年9月5日実施(参加者)一般 28名 平成29年2月1日実施(参加者)職員 24名</p> <p>酒々井まちづくりセミナー 8回開催(参加者)一般・職員延べ243名</p> <p>公園等愛護活動推進事業認定団体</p> <table border="1"> <tr> <td>実施団体</td> <td>13 団体</td> <td>実施公園等</td> <td>19箇所</td> </tr> </table> <p>資材等支給事業実施実績</p> <table border="1"> <tr> <td>実施件数</td> <td>9 件</td> </tr> </table> <p>酒々井の里山林協働再生事業実施実績</p> <table border="1"> <tr> <td>実施地区</td> <td>根古谷、飯積</td> </tr> </table> <p>100年安全・安心に住めるしすいづくり事業 職員向けGISシステム研修会実施(3日間:延べ41名)</p>		4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計(上半期)	団体	22件	18件	19件	14件	10件	14件	97件		236人	217人	206人	183人	84人	165人	1,091人	個人	167人	169人	168人	146人	107人	114人	871人	うち60歳以上	154人	164人	157人	127人	94人	106人	802人		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(実績)	団体	17件	18件	16件	12件	19件	21件	200件		179人	201人	193人	112人	164人	192人	2,132人	個人	125人	113人	108人	108人	106人	176人	1,607人	うち60歳以上	123人	105人	103人	106人	102人	171人	1,512人	実施団体	13 団体	実施公園等	19箇所	実施件数	9 件	実施地区	根古谷、飯積	<p>【井戸端】 前年同時期の利用実績と比較すると個人利用者は1,266名減少し、そのうち60歳以上者については1,192名となっています。月平均利用者数は、約134名(△105名)うち60歳以上者は約126名(△99名)となっています。また、団体活動での利用者についても△263名減少し、全体利用者は3,739名(△1,529名)と減少しています。悪天候時の閉館等も関係して利用人数は減少しておりますが、井戸端開所後7年が経過し、団体の活動が周知・浸透してきており、公益活動の推進、並びに高齢者のとじこもり防止や地域での交流に寄与していると思われます。 【公園等愛護活動推進事業】 13団体が認定済。19箇所の公園等で美化が推進されました。 【資材等支給事業】 9件実施(道路整備、排水路土留工事等) 【酒々井の里山林協働再生事業】 2地区実施①湧水周辺の公園化(粉碎した木・竹の有効活用し散策路を整備)②城跡地内の景観整備(竹林等の除伐・粉碎) 【100年安全・安心に住めるしすいづくり事業】 職員向けに研修会を3日間実施。GISシステムの基礎的な操作方法等について学習できました。</p>	○	住民協働課
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計(上半期)																																																																																				
団体	22件	18件	19件	14件	10件	14件	97件																																																																																						
	236人	217人	206人	183人	84人	165人	1,091人																																																																																						
個人	167人	169人	168人	146人	107人	114人	871人																																																																																						
うち60歳以上	154人	164人	157人	127人	94人	106人	802人																																																																																						
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(実績)																																																																																						
団体	17件	18件	16件	12件	19件	21件	200件																																																																																						
	179人	201人	193人	112人	164人	192人	2,132人																																																																																						
個人	125人	113人	108人	108人	106人	176人	1,607人																																																																																						
うち60歳以上	123人	105人	103人	106人	102人	171人	1,512人																																																																																						
実施団体	13 団体	実施公園等	19箇所																																																																																										
実施件数	9 件																																																																																												
実施地区	根古谷、飯積																																																																																												

H28施策 (事業)名	H28施策等概要	実績内容	実施効果	自己評価	担当課
②人権施策	さまざまな人権問題の解決を目指し、あらゆる差別の撤廃と人権尊重の意識を高めるため、講演会、人権啓発ポスター展や街頭啓発などの啓発活動を行います。また、隣保館における各種事業や「隣保館まつり」を支援します。	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年10月13～19日 町内の小学6年生による人権ポスター展を町公民館ロビーで実施(展示数184点)。優秀作品を各校から1点選出し、町の人権ポスターとして作成し、町内の公共施設、駅、銀行、スーパー、商店で掲示。 ・平成28年11月24日 酒々井町人権セミナー・酒々井中学校人権集会合同講演会として酒々井中学校体育館で開催。テーマ「命の講演会」講師 NPO法人子ども劇場千葉県センター理事長宇野京子氏 ・平成28年12月5日 人権擁護委員による街頭啓発、広報車の巡回 ・平成28年10月22日 第4回隣保館まつり実施。隣保館事業の各教室の発表会、作品の展示、模擬店の出店。参加者280名。 	「命の講演会」は、子どもがかけたい時にいつでもかけられる電話という内容で、中学生の身近なテーマでもありアンケートでも好評でした。	○	健康福祉課
③シティプロモーション活動	町マスコットキャラクターを積極的に活用し、県内外の様々なイベントなどで酒々井町の施策や魅力等を町内外に広く情報発信するシティプロモーション活動を推進し、交流人口増加や定住促進を図ります。	町マスコットキャラクターを積極的に活用し、町内のイベントや町内外で開催されたイベント等で町の情報を発信するシティプロモーション活動を推進するとともに、井戸っこ(しすいちゃん)ミュージックビデオとして、町制施行90周年を記念して制作された「酒々井町民歌」を編曲し、「酒々井町民歌2017」としてリニューアルし制作しました。 PRイベント参加状況…29回	町マスコットキャラクターを活用することにより、多世代の方々へのシティプロモーション活動を実施しました。これにより、町の知名度を向上させ、交流人口増加や定住促進を図る一助となったものと思われます。	○	企画財政課
④総合計画	第5次総合計画「前期基本計画」が平成28年度で計画期間が終了するため、社会情勢の変化による住民の意識の変化を踏まえ、ニーズを的確に把握するとともに、広く町民の意見を反映させた「後期基本計画」を策定します。 昨年10月に策定した「酒々井町・まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標に基づいた施策を積極的に実施・展開し、交流人口増加や定住促進の施策を進めます。	町ホームページ等で後期基本計画(案)について町民意見の募集を行うとともに、町総合計画策定本部や委員会等で検討した後期基本計画(案)について町議会へ説明し意見を求めながら、平成29年3月に策定しました。 また、町総合計画のアクションプランと位置付けられる酒々井町まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく各種施策を国の地方創生関連交付金を積極的に活用し、実施しました。	町最上位計画である「第5次酒々井町総合計画後期基本計画」(平成29年度から平成33年度)を策定しました。	○	企画財政課

H28施策 (事業)名	H28施策等概要	実績内容	実施効果	自己評価	担当課
⑤情報管理	町ホームページを積極的に活用して町内外に広く情報を発信できるよう体制強化に取り組めます。酒々井に生まれ育った子どもに、町の様子に関心を寄せてもらうため、「子どもホームページ」を新たに開設します。	ホームページ記事の作成更新にあたり担当職員からの問い合わせ対応を充実させ、迅速に見やすいホームページ作りに取り組んでいます。 平成28年度掲載・更新記事数 883件(月約73件) 「こどもホームページ」の開設については、より良いホームページとするために地方創生推進交付金を活用して平成29年度事業として実施します。	町ホームページは、時間や場所を気にせずに町の情報を得ることが出来るため、情報提供手段の一つとして重要な役割を担っています。	△	総務課・企画財政課
⑥戸籍・住民基本台帳	戸籍、住民票等の作成管理、住民の基本的な権利・義務の発生、国籍の確認、身分事項の変更等を正確かつ適正に管理し、住民サービスの増進を図ります。また、平成28年度から開始される「社会保障・税番号制度」で使用する中間サーバープラットフォームの整備を進めます。	戸籍、住民票等の作成管理、住民の基本的な権利・義務の発生、国籍の確認、身分事項の変更等を正確かつ適正に管理し、住民サービスの向上に努めました。 平成29年10月の運用開始予定に向け、総合運用テスト(自治体ー自治体間、自治体ー国・その他の機関間)を実施しました。	法令を順守し、正確かつ適正に職務を遂行しました。 総合運用テストについては、誤り等なく対応でき、運用開始ができる見込みとなりました。	○	税務住民課

H28施策 (事業)名	H28施策等概要	実績内容	実施効果	自己評価	担当課
⑦税の確保	各種電算業務委託や課税客体調査業務等を実施し、町税の適正で正確な賦課と公平な徴収に努めます。	<p>【住民税班】 平成29年2月16日から3月15日の平日、分庁舎2階第2多目的室を会場に所得税及び住民税の相談業務を実施しました。 日数:20日(前年度21日) ・所得税申告:2,002件(前年度1,993件)9件増 ・住民税申告:716件(前年度816件)100件減</p> <p>【資産税班】 ◎課税客体調査業務等 ・酒々井町固定資産評価基礎資料整備及び土地評価業務(10,562,400円) 固定資産の課税客体(土地及び家屋)を的確に把握するため、航空写真や地番図等の課税基礎資料を整備するとともに路線価の付設・見直しや画地計測等の土地評価を実施しました。進捗率:100% ・不動産鑑定業務委託(5,524,977円) 平成30年度の固定資産税(土地)の評価替えにおいて活用する標準宅地の不動産鑑定評価を実施しました。進捗率:100%</p> <p>【収税班】 町税等の公平性を確保し、未納金の徴収を効果的に推進するため、きめ細やかな財産調査に基づく差押え等の滞納処分を行いました。 また、接触の取れない滞納者には、12月に休日臨戸徴収や千葉県税事務所との共同臨戸徴収による納税交渉を行いました。</p>	<p>【住民税班】 相談業務を行うと同時に申告内容を電算システムに取り込むことにより、個人住民税の平成29年度の当初賦課に向けた基礎数値を把握することができました。</p> <p>【資産税班】 課税客体(土地及び家屋)の現況を的確に把握することにより、適正かつ公平な課税を行うことができました。また、土地の評価額については、不動産鑑定士による鑑定価格を活用することから価格の適正及び信頼性を確保することができます。</p> <p>【収税班】 町税全体の対調定収納率は、現年課税分が90.82%で前年度比1.49ポイントの減、滞納繰越分は25.72%で前年度比3.71ポイントの増となりました。</p>	○	税務住民課
⑧庁舎管理	昨年、分庁舎が完成したことから、老朽化した東庁舎を取り壊し、中央庁舎の耐震改修工事の実施に向けた準備を進めます。	老朽化した東庁舎を取り壊し、跡地を庁用車用駐車場として整備しました。	分庁舎の建設により減少した庁用車の駐車スペースと中央庁舎の耐震改修工事を実施する際に必要となるスペースを確保することができました。	○	企画財政課